

## 地域農業の維持・発展に向けた地域計画の作成と実践



大河原農業改良普及センター  
 計画期間: 令和5~7年  
 対象者: 村田町菅生地区土地利用型  
 農業次世代担い手  
 (菅生生産組合(5名)、  
 2経営体(2名))  
 チーム員: ◎高橋(真)、阪本、宍戸、  
 千田、伊藤(修)、高橋(洋)

### 1. 課題の背景

1. 課題の背景

目的 活動内容 活動成果 今後

#### □菅生地区の概要

##### ●位置等

- ・村田町の北東部に位置  
(仙台市、名取市、柴田町、川崎町に隣接)

##### ●地域の農業

- ・1975年に30a区画を基準とした  
基盤整備がなされ、水稻は生産  
組合と認定農業者が部分作業を  
含めて担っている。



(引用元: 大河原地方行政連絡調整会議、  
令和5年度山南地域の概要)

## 1. 課題の背景



### ● 農地の状況



## 1. 課題の背景



### ● 地域農業の抱える課題

- ① 担い手農家の減少
- ② 傾斜地が多く、耕作地が分散しており、生産効率が悪い
- ③ 担い手が請け負うことができる面積が限界を迎えている

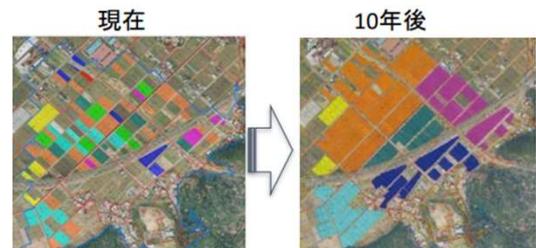
## 【地域計画とは】

### 1 地域計画

- 農業者や地域の皆様の話し合いにより策定される**地域の将来の農用地利用の姿を明確化した設計図**です。
- 10年後を見据え、担い手を含め、農地所有者、地域住民なども交えて、話し合うことが重要となります。

### 2 目標地図

- 地域の話し合いと農地の出し手・受け手の意向を踏まえて、10年後に目指すべき農用地利用の姿である「目標地図」を地域計画に添付します。



目標地図のイメージ

(東北農政局パンフレットより抜粋)

## 【地域計画はなぜ必要か？】

個々では解決が困難な課題を、地域ぐるみで解決するよう、話し合いを通して合意を図り、地域計画で明文化し、地域ぐるみで取り組む必要があるため



## 2. 課題の目的

背景 2.課題の目的 活動内容 活動成果 今後

### ■ 成果指標

#### ・ 定性的目標

地域内の合意形成の下で地域計画が作成・実践される

#### ・ 定量的目標

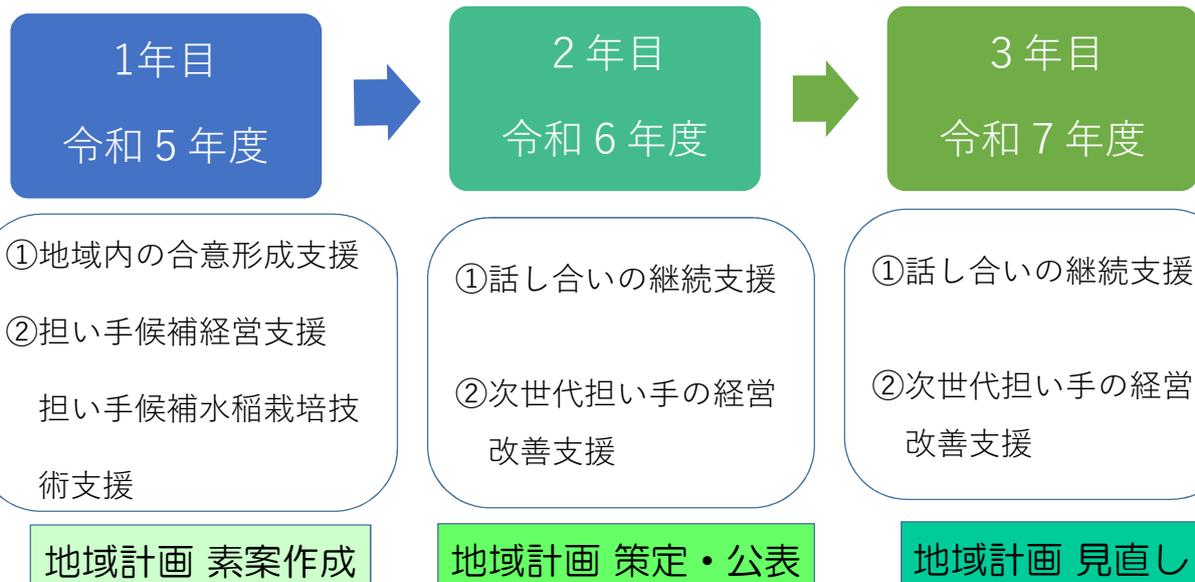
次世代担い手の水稲作付面積

R4 46.5ha(課題設定時実績)

(目標) R5 47ha → R6 50ha → R7 53ha

## 3. 活動内容

背景 目的 3.活動内容 活動成果 今後



### 3. プロジェクト課題の活動内容

背景 目的 3.活動内容 活動成果 今後

#### ① 話し合いの継続支援



【役場との打ち合わせ】



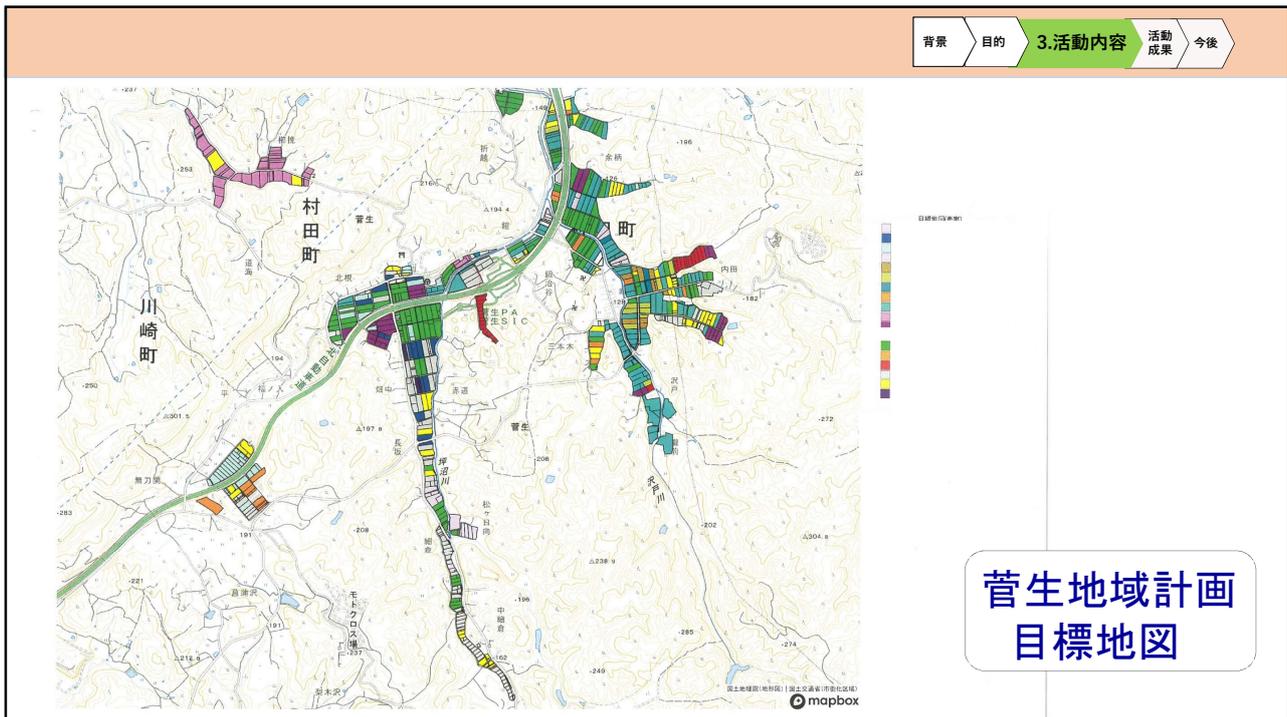
#### 菅生地区水田営農研修会 (R6.12.24)

背景 目的 3.活動内容 活動成果 今後



〈内容〉

- 1 水稲技術研修(次作に向けた土づくり)
- 2 経営ミニ講座(個人と任意組織、法人の違いなど)
- 3 目標地図の修正に向けた話し合い



<div style="text-align: right;"> <span>背景</span> <span>目的</span> <span style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 2px;">3.活動内容</span> <span>活動成果</span> <span>今後</span> </div>			
<h2 style="margin: 0;">②次世代担い手への経営改善支援</h2>			
	共通する課題	個別の課題	支援
生産組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区内小規模個別農家の高齢化により急速に面積が拡大</li> <li>・ 水稻栽培管理が困難なほ場がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人化支援 経営ミニ講座（菅生地区水田営農研修会）、個別相談</li> </ul>
個別担い手①		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人の農業部門として経営しているが、部門収支が不安定である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規作物（えだまめ）栽培支援</li> <li>・ 生産計画作成支援</li> </ul>
個別担い手②		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状の労力では経営規模が上限</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産技術支援（土づくり、雑草防除）</li> </ul>

背景 目的 3.活動内容 活動成果 今後

## ②次世代担い手への経営改善支援(栽培技術指導)



【新規作物(えだまめ)栽培指導】

【水稻栽培指導】

背景 目的 3.活動内容 活動成果 今後

## ②次世代担い手への経営改善支援(経営支援)



【経営課題聞き取り(生産組織)】

【経営計画策定支援(個別担い手)】

## 4. プロジェクト課題の活動成果

背景 目的 活動内容 **4.活動成果** 今後

### ◎定性的目標

○地域内の合意形成に向け話し合いが継続される

→話し合いを継続し目標地図の見直しを行うことで合意形成が図られた

○次世代担い手の経営課題が明らかになり、改善への取り組みが行われる

→法人化向け具体的な検討  
新規作物(えだまめ)の定着  
水稻栽培技術の定着

※生産組合では、将来を見据えた設備投資(フレコン対応乾燥調製施設)が行われた



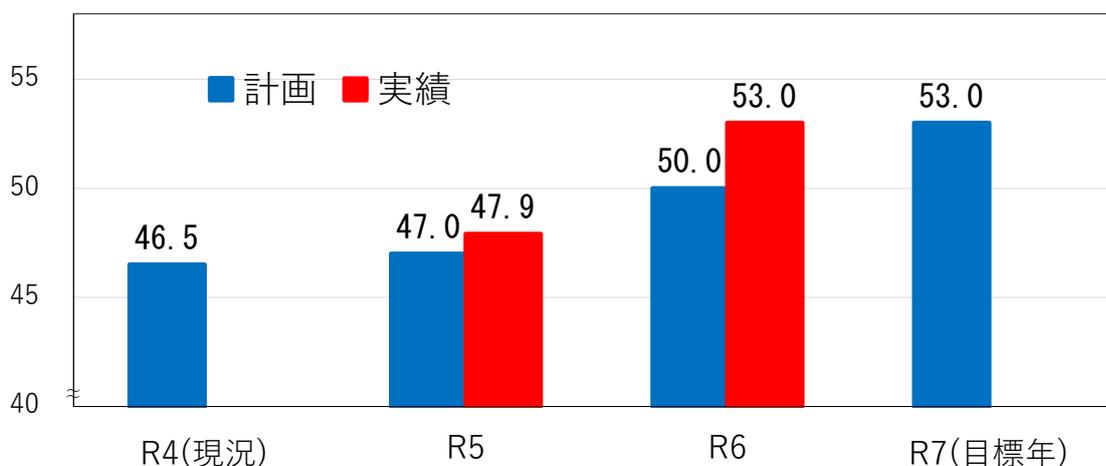
## 4. プロジェクト課題の活動成果

背景 目的 活動内容 **4.活動成果** 今後

### ◎定量的数値目標

単位:ha

次世代担い手の水稻作付面積



## 5. 今後の活動

背景 目的 活動内容 活動成果 5.今後の活動

# 地域内の合意形成の下での地域計画 実践に向けて

①話し合いの継続支援

②次世代担い手の経営  
改善支援

